

第6回メキシコ日系医療セミナーについて

1. 出張期間 : 令和元年8月9日(金)～15日(木)
2. 出張先 : メキシコシティ、メリダ(メキシコ)
3. 出張者 : 横倉会長
(随員) 国際課 能登課長

4. 内 容 :

メキシコ日系人医師会及びメキシコ日本医療財団のホセ・ルイス・アカキ会長からの招待に応じ、第6回メキシコ日系医療セミナーに横倉会長が出席した。本セミナーは2014年から在メキシコ日本国大使館の協力の下、日系人医師及び幅広い専門分野のメキシコ人医師が参加して行われている。

8月9日:メキシコシティ

高瀬 寧 在メキシコ日本国特命全権大使公邸における夕食会に横倉会長が招待され、同行した日本医療政策機構黒川清代表理事、米国日本人医師会元会長でニューヨーク野口英世記念会会長の本間俊一コロンビア大学循環器系内科主任教授、アカキ会長等と懇談を行った。

8月10日:メキシコシティ

野口英世博士来墨100周年を記念して開催された第6回メキシコ日系医療セミナーにおいて、横倉会長は昨年ノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑教授が野口英世博士の伝記に啓発されたことが医師を目指すひとつのきっかけとなったことを紹介した上で、日本の医療と医師会活動をテーマに、がんプレジジョン医療プロジェクト、がん治療の将来予測、かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステムの推進、医師会が行う疾病対策などについて講演した。黒川清代表理事は、主に自身が座長を務める野口英世アフリカ賞について講演した。本間教授は、野口博士の歴史と功績、ニューヨークのウッドローン墓地にある同博士の墓碑について講演を行った。会場には、日本の国際医療協力を推進するメディカル・エクセレンス・ジャパン会員企業による展示会で日本の先端医療機器が紹介された。セミナーには約200人が参加した。

8月11日:ユカタン州メリダ市

野口英世博士が100年前に来墨し黄熱病の研究活動を行ったユカタン半島のメリダ市に移動。メリダ市文化センターで行われたジャパンフェスティバル2019に、高瀬大使、アカキ会長等と招かれた横倉会長は、閉会式典で、メリダ市民に向け、現在に至るまで野口英世博士の功績を称えてくれていることに対してお礼を述べた。

8月12日：ユカタン自治大学

野口英世博士来墨 100 周年記念式典がユカタン自治大学の野口英世地域研究センターホールで行われ、ユカタン自治医科大学ウィリアムズ学長、コエーリョ同大学野口英世地域研究センター長等と共に横倉会長が祝辞を述べた後、野口英世博士の銅像に献花を行った。その後、本間教授による基調講演、夕方には、同大学本講堂における「今に生きる野口英世博士の功績」をテーマにユカタン自治大学カルロス医学部長の座長によるパネルディスカッションに横倉会長、本間教授、アカキ会長、コエーリョセンター長が参加した。

8月13日メキシコシティ

メリダからメキシコシティに移動し、横倉会長は、高瀬大使、アカキ会長と共に保健省を訪問。ホルヘ・アルコセル・バレーラ保健大臣と10月のG20保健大臣会合などの話題で懇談した。その後、保健省保健衛生審議会事務局長他との協議を行った。同審議会は、医療の質の保証、病院の認証、保健に関する公共政策の策定等、国の保健制度の中枢を担っている。次に、国立医学アカデミーを訪問し、テレシータ・コロナ・バスケス総裁等と面談。同アカデミーは政府の諮問機関であり、バスケス総裁は、日本の医療、医学分野との二国間の交流について大きな関心を寄せ、高瀬大使、アカキ会長にメキシコにおける協力、横倉会長に日本からの協力を求めた。